



ちば

No. 128 相談員の情報ページ

青少年相談員だより

発行：千葉市青少年相談員連絡協議会

発行責任者：東野 広志

編集：広報調査部

令和4年度 標語コンクール（テーマ:乗り越える）

最優秀賞

乗り越える どんな壁でも 前向きに
(蘇我中学校 牧野 睦)

優秀賞

向かい風 見方を変えようと 追い風に
(犢橋中学校 田崎 葉)

この日々は 未来を彩る 種になる
(千城台西中学校 小関 真心)
乗り越える マスクで隠れた
笑顔を見るまで
(幕張西中学校 武田 季久)

入選

「大丈夫」 背中を押すのは 友の声
(花園中学校 川端 美波)

快晴の 未来にはばたけ 我らの心
(蘇我中学校 一色 ふうか)

町中に 祭りの音色 響かせたい
(幸町第二中学校 尾形 優奈)

戻りたいんじゃない 進みたいんだ
笑顔溢れる希望の世界へ
(泉谷中学校 嶋田 桃々)

大丈夫 ゆっくり しっかり 一歩ずつ
(打瀬中学校 近藤 凜)

困ったら 身近な人に 相談を
一人で抱えず 自分を大事に
(真砂中学校 大久保 海音)

第21期にあたって(会長挨拶)

第20期に引き続き、今期も会長を務めさせていただきますこととなりました。「こてはし台中学区」の東野 広志(アズマノ ヒロシ)です。

第20期はコロナ禍の中、各ブロック・学区とも思うような活動が出来ず、歯がゆい3年間でした。まだまだコロナの収束が見えない中で、第21期はどう活動していくべきか悩んでいましたが、8月9日に参加したティームーティングの席において神谷千葉市長から『コロナが収束するまで長期間に渡ってイベントの開催を中止にした場合、再開が困難になってしまう。感染対策に十分に留意した上で事業は継続していくべきではないか』と力強いご助言をいただきました。

青少年相談員は『青少年と真に一体となり、共に喜び、共に語り、共に行動する』ことを目的に活動しています。子ども達にとってこの一年は、二度と巡って来ないかけがえのない一年です。子ども達の経験する機会を守るためにも、事業を中止するのではなく、事業を継続していく知恵を絞らなければ、青少年相談員としての目的を達成できないと痛感致しました。

また併せて、千葉市も青少年相談員の認知度向上のため、広報活動に可能な限り協力いただくこととお約束いただいたほか、青少年相談員を地域にかかせない存在として認識しており、今後も活動を応援していると励ましのお言葉をいただきました。皆様も相談員として、自信を持って活動に

